

☆ 障がいを持つ子どもたちに ☆ 民生児童委員協議会研修会

民生児童委員協議会は5月24日(金)、静岡県掛川市にある【ねむの木学園】を訪問し、どのような環境でどのような教育をされているのか研修視察しました。

「ねむの木学園」は、ご存じの方も多いと思いますが「障がいをもつ子どもたちに教育の場を」という願いの下、創設者 宮城まり子さんが1968年に日本で初めて開設した肢体不自由児養護施設、並びに1979年に開校した肢体不自由児のための特別支援学校です。しかし、近年、知的(発達)障がいの入所依頼が増えており、ASD(自閉症)で高年齢児の問い合わせが多いと言われています。

80ヘクタールに及ぶ広大な山間に「ねむの木村」が建設され、70名の子供たちの養育は、施設・学校両者の教職員80名の皆さんが一体となって、生活指導・学校教育その他すべてにあたっておられます。

今回は「ねむの木学園」の視察研修と共に、車中においても日頃の民生委員活動や、地域の問題で対応に困ったことなども発表、他の委員からその助言をもらうなど、委員間の意見交換ができ充実した研修会であったと感じました。

《寄稿：民生児童委員協議会》



施設へ向かう途中、子供たちが花壇の手入れ



個室でゆったり、集中して絵を描く子供の様子

お知らせ

島文楽公演動画配信



6月22日(土)に開催しました郷土の伝統芸能「島文楽公演」をYouTubeで録画配信しています。パソコン、スマホのYouTubeから「葉栗広報チャンネル」と検索か下記QRコードからご覧ください。



←葉栗広報 YouTube 動画

トイレがきれいになりました。

葉栗小学校南門の西側にある屋外トイレが、従来は和式トイレであったものを洋式トイレに改修され外壁も一新しました。

改修工事を寄贈されたのは、日頃少年野球で校庭を利用している「富塚キッズ」です。野球やサッカー、屋外活動でトイレを使用するとき和式では使いづらさが見られ、今回の改修になりました。これにより安心して利用することができるようになりました。ありがとうございました。

